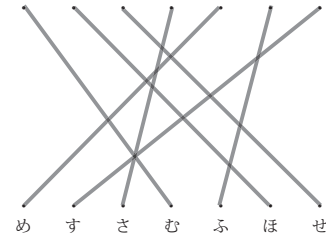




上の句

- 18 夢の通ひ路 人目よくらむ  
 22 むべ山風を 嵐といふらむ  
 57 雲隠れにし 夜半の月かな  
 70 いづこも同じ 秋の夕暮れ  
 77 われても末にあはむとぞ思ふ  
 81 ただ有り明けの月ぞ残れる  
 87 霧立ちのぼる 秋の夕暮れ

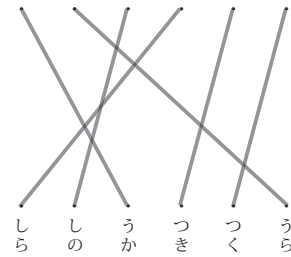
決まり字



上の句

- 13 恋ぞつもりて 淵となりぬる  
 23 我が身一つの 秋にはあらねど  
 37 貫き止めぬ 玉ぞ散りける  
 40 物や思ふと 人の問ふまで  
 65 恋に朽ちなむ 名こそ惜しけれ  
 74 はげしかれとは 折らぬものを

決まり字



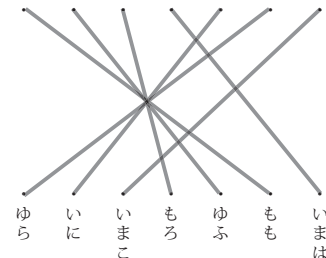
「百人一首 初めてかるた」 制作：ポリゴンドリル



上の句

- 21 有り明けの月を 待ち出でつるかな  
 46 ゆくへも知らぬ 恋の道かな  
 61 今日九重に 匂ひぬるかな  
 63 人づてならで いふよしもがな  
 66 花より外に 知る人もなし  
 71 芦のまろやに 秋風ぞ吹く  
 100 なほあまりある 昔なりけり

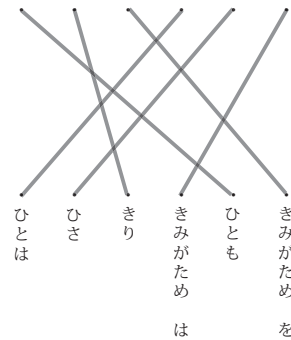
決まり字



上の句

- 15 我が衣手に 雪は降りつつ  
 33 しづ心なく 花の散るらむ  
 35 花ぞ昔の 香ににほひける  
 50 長くもがなと 思ひけるかな  
 91 衣かたしき ひとりかも寝む  
 99 世を思ふ故に もの思ふ身は

決まり字



「百人一首 初めてかるた」 制作：ポリゴンドリル

下の句と決まり字を、線でつなごう。

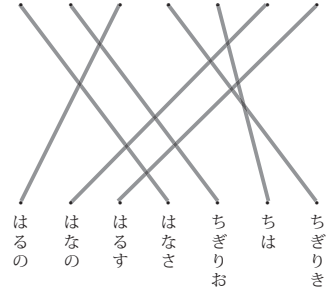
3/7



上の句

- 2 衣ほすてふ 天の香具山
- 9 我が身世にふるながめせし間に
- 17 唐紅に水くるとは
- 42 末の松山 波越さじとは
- 67 かひなく立たむ 名こそ惜しけれ
- 75 あはれ今年の秋もいぬめり
- 96 ふりゆくものは 我が身なりけり

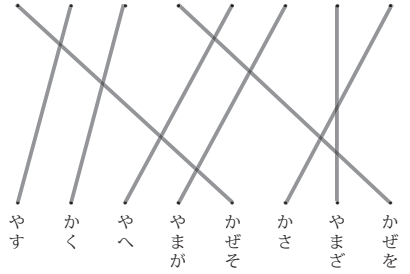
決まり字



上の句

- 6 白きを見れば 夜ぞ更けにける
- 28 人目も草も かれぬと思へば
- 32 流れもあへぬ 紅葉なりけり
- 47 人こそ見えね 秋は来にけり
- 48 くだけて物を 思ふ頃かな
- 51 さしも知らじな 燃ゆる思ひを
- 59 傾くまでの 月を見しかな
- 98 みそぎぞ夏の しるしなりける

決まり字



「百人一首 初めてかるた」 制作：ポリゴンドリル

下の句と決まり字を、線でつなごう。

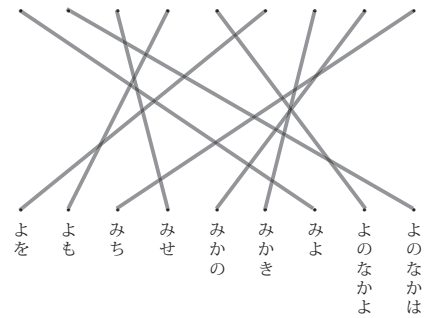
4/7



上の句

- 14 乱れそめにし 我ならなくに
- 27 いつ見きとてか 恋しかるらむん
- 49 昼は消えつつ 物をこそ思へ
- 62 よに逢坂の 関は許さじ
- 83 山の奥にも 鹿ぞ鳴くなる
- 85 関のひまさへ つれなかりけり
- 90 濡れにぞ濡れし 色は変はらず
- 93 海人の小舟の 綱手かなしも
- 94 ふるさと 寒く衣打つなり

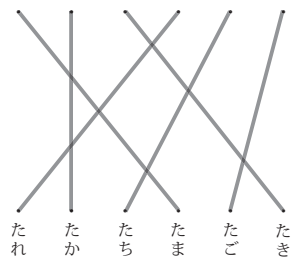
決まり字



上の句

- 4 富士の高嶺に 雪は降りつつ
- 16 まつとし聞かば 今帰り来む
- 34 松も昔の 友ならなくに
- 55 名こそ流れて なほ聞こえけれ
- 73 外山の霞 たたずもあらなむ
- 89 忍ぶることの 弱りもぞする

決まり字



「百人一首 初めてかるた」 制作：ポリゴンドリル

下の句と決まり字を、線でつなごう。

5/7



下の句と決まり字を、線でつなごう。

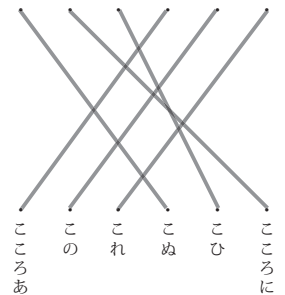
6/7



上の句

- 10 知るも知らぬも 逢坂の関
- 24 紅葉の錦 神のまにまに
- 29 置きまどはせる 白菊の花
- 41 人知れずこそ 思ひ初めしか
- 68 恋しかるべき 夜半の月かな
- 97 焼くや 藻塩の身もこがれつつ

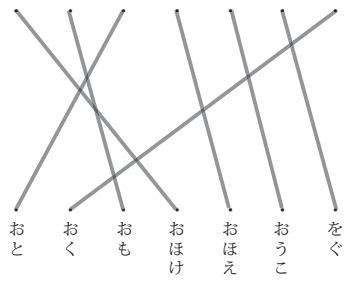
決まり字



上の句

- 5 声聞く時ぞ 秋は悲しき
- 26 今一度の 行幸待たなむ
- 44 人をも身をも 恨みざらまし
- 60 まだふみも見ず 天の橋立
- 72 かけじや袖の 濡れもこそすれ
- 82 憂きにたへぬは 涙なりけり
- 95 我が立つ袖に 墨染の袖

決まり字

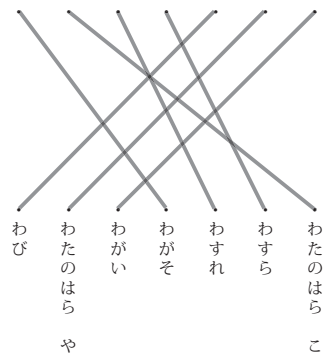


「百人一首 初めてかるた」 制作：ポリゴンドリル

上の句

- 8 世をうぢ山と 人はいふなり
- 11 人には告げよ 海人の釣り舟
- 20 みをつくしても 逢はむとぞ思ふ
- 38 人の命の 惜しくもあるかな
- 54 今日を限りの 命ともがな
- 76 雲居にまがふ 沖つ白波
- 92 人こそ知らね 乾く間もなし

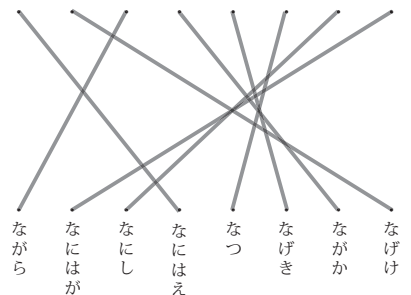
決まり字



上の句

- 19 逢はでこの世を 過ぐしてよとや
- 25 人に知られで くるよしもがな
- 36 雲のいづこに 月宿るらむ
- 53 いかにかに 久しきものとかは知る
- 80 乱れてけさは 物をこそ思へ
- 84 憂しと見し世ぞ 今は恋しき
- 86 かこち顔なる わが涙かな
- 88 みをつくしてや 恋ひわたるべき

決まり字



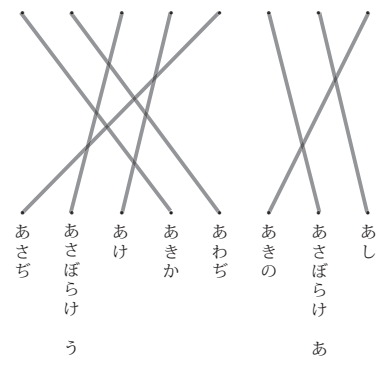
「百人一首 初めてかるた」 制作：ポリゴンドリル



上の句

- 1 わが衣手は露にぬれつつ
- 3 長々し夜を独りかも寝む
- 31 吉野の里に降れる白雪
- 39 あまりてなどか人の恋しき
- 52 なほ恨めしき朝ぼらけかな
- 64 あらはれ渡る瀬々の網代木
- 78 幾夜寝覚めぬ須磨の関守
- 79 もれ出づる月の影のさやけさ

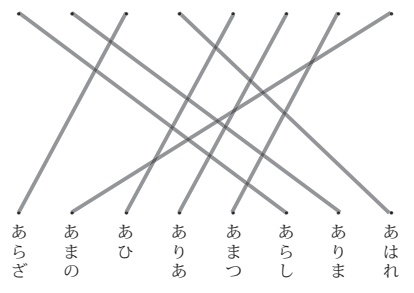
決まり字



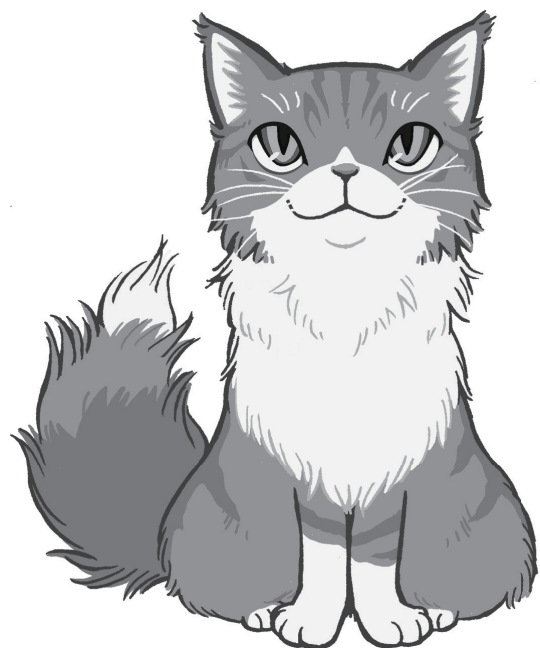
上の句

- 7 三笠の山に出でし月かも
- 12 をとめの姿しばしとどめむ
- 30 暁ばかり憂きものはなし
- 43 昔は物を思はざりけり
- 45 身のいたづらになりぬべきかな
- 56 今一度の逢ふことがな
- 58 いでそよ人を忘れやはする
- 69 龍田の川の錦なりけり

決まり字



「百人一首 初めてかるた」 制作：ポリゴンドリル



できた？

じゃ、チャマメと対戦しよう

アプリで待ってるよ